

「顔の見える関係」から「手をつなぎ合える関係」をめざして

ことう地域チームケア研究会 たよい

平成 29 年7月 31日発行

第 27 回ことう地域チームケア研究会を開催しました

開催日時:平成 29 年 7 月 13 日(木) 18:30~20:30

担当団体:彦根愛知犬上介護保険事業者協議会・彦根愛知犬上介護支援専門員連絡協議会

参加者:73名(医療福祉関係者24名、福祉関係者27名、行政・包括等22名*内新規参加17名)



福祉用具専門相談員
福井 康二さん

今回のテーマは「福祉用具の活用・自立支援」

話題提供より

ヤマシタコーポレーション 福祉用具専門相談員 福井 康二さん
鈴木ヘルスケアサービスいなえ 介護支援専門員 平野 潤 さん
豊郷病院リハビリテーション科 作業療法士 馬場 浩伸さん

福祉用具の定義と役割

○福祉用具の定義

介護保険法において福祉用具とは「心身の機能が低下し日常生活を営むに支障がある要介護等の日常生活上の便宜を図るための用具及び要介護者等の機能訓練のための用具であって、要介護者等の日常生活の自立を助けるためのものをいう」と定められている。

○福祉用具の役割

生活の支援を必要とする方の自立を可能とする。

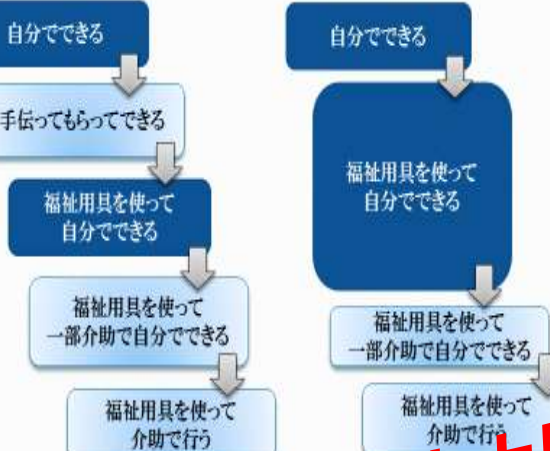
介護負担の軽減をする。

生活の支援を必要とする方の心の負担を軽減する。

自立支援の考え方

日本の介護と特徴!?

自立支援・介護負担軽減の視点



福祉用具相談時の利用者の状態

事例より

- ◆性別:女性
- ◆主介護者:独居
- ◆ADL:家の中では伝え歩きが可能で、段差昇降は松葉杖(購入)を利用して行うことが出来ておられたのですが、下肢状態の悪化に伴い福祉用具貸与サービスの利用を開始されることとなりました。

「退院後も自宅で暮らしたい」



以後、約10年間、本人の体調の波に合わせた福祉用具を提供することで、一人で生活したいという意向に沿って自立した生活を送っておられました。

事例の発生

転倒による骨折

ベッドからの転落による骨折や、玄関での転倒骨折等、短期間での入退院を繰り返されることとなります。



ケアマネージャーさん、リハビリの先生方との連携による在宅復帰計画

本人の願い「自分の家で暮らし続けたい」を叶えるにはどうしたらいいか、身体状況を評価し、移動手段や用具の選定を退院時に検討しました。

当時、在宅復帰に向けた福祉用具の導入に関して、ケアマネージャーさんをはじめ、病院の先生方へ様々な助言を頂きながら福祉用具の選定を行いました。

今も元気にひとり暮らしをしております。本人の希望する暮らしを継続できるように状態に合わせて福祉用具を活用していきたい。



作業療法士
馬場浩伸さん



ケアマネジャー
平野潤さん

「福祉用具×自立支援」

* 福祉用具だけでは自立を支援することはできません。必要な方に必要な道具が選定される必要があります。
 * 福祉用具の選定には、道具の知識はもちろんのこと、その方の生活スタイル、身体能力、経済力等様々な情報が必要です。
 * 福祉用具を専門に取り扱う立場として、福祉用具に関わる多様な情報を持って、様々な専門職の方々との連携することが、自立支援につながるより良い福祉用具の選定への手段と考えています。

参加者の声



本日の司会進行は、
彦根愛知犬上介護保険事業者協議会
代表理事 鈴木則成さん
(鈴木ヘルスケアサービス)

&



彦根愛知犬上介護支援専門員連絡協議会
会長 辻広美さん

①【感想】

- ◆メガネや箸も福祉用具、というのは目からウロコ。
- ◆福祉用具の種類の多さにびっくり！
- ◆福祉用具はその人の生活を豊かにするもの。福祉用具はその人にとってプラスになるものだと思った。
- ◆介護度に関係なく、必要な人に必要な福祉用具が活用できると良いと思った。
- ◆退院時に導入した福祉用具が実生活では合わないこともある。本人の生活に合ったものを選定していく必要があると思った。

もう少し聞きたいこと・伝えたいことを全体で意見交換

全体交流会

◎福祉用具専門相談員から

「ケアマネジャーさんやリハビリの方から依頼時にある程度情報をいただいて、ご本人の思いや多職種の意見を聞きながら機種を選定するようにしている。福祉用具導入時に専門職からの助言（訪問看護、リハ、ケアマネ、MSW）は重要。チームで連携し支援につなげるようにしたい。」

◎ケアマネジャーから

「利用者のアセスメントをして、福祉用具の品目は提案をしたりしているが、機種を選定していくためには、福祉用具専門職の情報や意見が必要。」

◎リハビリ職から

「福祉用具の導入を検討する時にリハビリ職の意見も参考にしてもらえると良い。自宅で動作確認をしながら、評価をすることができる。」

グループ交流会

交流会 テーマ

- ①話題提供を聞いた感想
- ②福祉用具を活用した自立支援・福祉用具活用術

9のグループに分かれ、テーマに沿って多職種で意見交換を行いました。福祉用具専門相談員さん、ケアマネジャーさんを含む多職種のグループで、福祉用具の詳細な情報や福祉用具導入時の現状、苦労話、成功事例等など、多くのお話をうかがうことができました。

②【福祉用具を活用して生活が変化した事例】

- ◆99歳の方。ベッドサイドに手すりを置いたただけで起居動作ができるようになった。
- ◆電動カートを導入したら、畑にいけるようになった。
- ◆ボタンエイドやハンドリーチャー等の活用で本人の達成感UP！生活意欲の向上につながる。

福祉用具の展示・商品カタログ



事例報告で紹介された福祉用具を一部展示していただきました。研究会終了後のフリータイムで、実物を見ながらあらためて活用方法について確認できました。

また、参加事業所様より、カタログも多数お持ちいただきました。取扱商品の違いや、福祉用具の最新情報を得ることができました。ご協力ありがとうございました。

多職種連携、福祉用具の活用等によって『生活を豊かにしていくことができる』ことを感じた。地域住民に対しても福祉用具の活用について情報発信をしていこう！

ご参加ください！ 次回(第28回)は…

◆平成29年9月14日(木) 18:30~20:30

テーマ：『わがまちの地域包括ケア』

担当団体：市・町の地域包括支援センター

会場：くすのきセンター1階研修室

*申し込みは不要です。当日会場へお越しください

*問い合わせ先：ことう地域チームケア研究会事務局

彦根愛知犬上介護保険事業者協議会 (TEL 49-2455)

彦根市医療福祉推進課 (TEL 24-0828)



お知らせメールの登録をお願いします。

研究会の開催状況や、次回のご案内をメールでお知らせします。ご希望の方は、「①お名前 ②ご所属 ③ひとこと」をいれて下記にメール送信してください。

☆ことう地域チームケア研究会事務局

(E-mail) info@gen-ai-ken-kaigo.jp

彦根市医療福祉推進課 彦根市・春日町・豊郷町・里見町・多富町

在宅医療福祉情報の森

<http://kusunoki-jyoho-mori-kotou-shiga.or.jp/>
ホームページで研究会の情報をご覧いただけます。

こんなこと思いました (アンケートより)

第27回ことう地域チームケア研究会

福祉用具を通じた在宅における連携の課題が非常に勉強になりました。

様々な福祉用具を現物も見ることができ勉強になった。

福祉用具の種類の多さにびっくりです。病院にいる間に見本の用具を多く置いてあるとお試しができてよいと思った。患者さんの自立を助けるために用具があることがわかった。

いろいろな職種の方から話を聞いて興味深かった。

普段、お話しすることの無い職種の方の話が聞いて有意義でした。

保険で利用が出来るサービスすら分からなかったのでもよく理解できました。

普段なかなか接触できない分野のお話を聞くことができました。知識のなさから意見がほとんどできないのが残念でした。

福祉用具の種類や条件などいろいろ教えていただきました。(看護師)

分かっているようで忘れかけていた福祉用具の基礎知識が確認できてよかったです。(訪問看護師)

福祉用具のことはほとんど知らないまま参加しました。ですので勉強になったこと、知っておかないといけないことなど分かって、本当に良かったです。(管理栄養士)

とても勉強になりました。事業所さんに細かく質問できてよかったです。(保健師)

めがねが福祉用具と聞いて、目からウロコでした。(医師)

福祉用具のこと、また勉強になりました。(医師)

介護保険に絡んだ内容についてよく分かりました。気軽に相談していきたくと思います。(歯科衛生士)

福祉用具の方とはよく連携させていただいているので、その視点を聞いて勉強になりました。(理学療法士)

福祉用具をテーマにいろいろな方の経験、考え方を聞いて参考になった。(作業療法士)

本人に合った用具ということを見ると、なかなか難しく、奥深いと感じた。(行政)

初めての参加でしたが福祉用具のこと基本的なことも分かり、グループの方の意見も聞いて勉強になりました。(介護職)

何度か参加させていただいていますが、毎回楽しみにしています。他職種との連携をもつことで今後の自分の仕事、役割に役立てたいと思います。(介護職員)

めがねも福祉用具にあたり、当初のめがねの目的から『おしゃれ』に使用されるようになってきたというお話を聞いて新たな視点で参考になった。(介護職)

初めて参加させていただきましたが、いろいろな情報交換もでき、とても勉強になりました。自立支援に向けて福祉用具は欠かせないものかと思えます。今後もさらに知識を深めていければと思います。(介護事業所)

福祉用具はいろいろな種類があり使用される方に応じたものを多種類から選び丁寧な選定があることが学べた。(介護事業所)

改めて福祉用具の大切さを知れた。(福祉用具専門相談員)

介護保険以外の説明、身体障害の施策に関しても説明ができればよかった。(福祉用具専門相談員)

初めて研究会に参加させていただき多職種の方との意見を聞くことができ、大変勉強になりました。(福祉用具専門相談員)

いつも福祉用具さんの活躍に感謝しています。無理をお願いすることも良くあるので。(介護支援専門員)

グループ発表の後のフリートークの試みはよかった。(介護支援専門員)

福祉用具を利用するにあたっては、その利用目的やその人の生活をしっかりと把握しておかなければいけないなど再度感じました。(介護支援専門員)

●参加者の方の所属事業所 (同意をいただいた事業所様のみ掲載しています)

【病院・診療所】松木診療所・中西医院・成美記念クリニック・豊郷病院・彦根市立病院・彦根中央病院【歯科医院】つつみ歯科医院・野村歯科医院・ニュータウン上出歯科医院・アンジュデンタルクリニック【薬局】わかば薬局神埼店・後三条ハッピー薬局

【訪問看護ステーション】彦根市立病院訪問看護ステーション・友仁訪問看護ステーションすずらん・レインボウはたしょう・こころ訪問看護ステーション【居宅介護支援事業所】ケアプランセンターどりーむ・あったかケアプランセンター・居宅介護支援センター元気村・さざなみ苑居宅支援センター・信幸ケアサービスセンター・鈴木ヘルスケアサービスいなえ・せせらぎ居宅介護支援・多賀清流の里(居宅)・彦根市社会福祉協議会居宅介護支援事業所・近江ふるさと会居宅介護支援事業所・ぶどう居宅介護支援事業所・鈴木ヘルスケアサービス【介護サービス事業所】ミドリやいなえ・リハビリ彦根・愛荘ゆらぎあんどん・特別養護老人ホームさざなみ苑・ケアサポートおうみ・ケアパートナーヨシイ・ヤマシタコーポレーション・ライフトーカー【地域包括支援センター】多賀町・豊郷町・彦根市(すばる・ひらた・ゆうじん)【行政関係・医療福祉専門職団体】愛荘町健康推進課・彦根市医療福祉推進課(湖東リハビリ推進センター)・長浜市高齢福祉介護課・湖東健康福祉事務所・滋賀県作業療法士会【その他】彦根市議会・オリオン株式会社・帝人在宅医療・帝人ファーマー株式会社・宇野酸素株式会社